

# 色彩を通じて育まれる感性

レッジョ・エミリア・アプローチの“STEAM”保育



社会福祉法人 北中央福祉会 あゆみ保育園

# 目次

P 1 これまで“あゆみ”続けてきた、本園の特色活動

P 2 レッジョ・エミリア・アプローチとは？

P 3 色彩が子ども達にもたらした“様々な恩恵”

P 4 レッジョ・エミリア・アプローチを取り入れた色彩体験で育んできたもの

P 5 アトリエ広場と地域への情報発信（アプローチ）

P 6 なぜだろう？ 活動を通じて集まった沢山の疑問

P 7 課題への新たな取り組み

P 8 STEAM教育

P 9 STEAM教育はなぜ必要なのか？

P 1 0 不思議を体験する環境を整える

P 1 1 STEAM保育を取り入れて、育んでいきたい力

P 1 2 色彩を通じて育まれる感性

“レッジョ・エミリア・アプローチ”のSTEAM保育とは？

P 1 3 思考力を伸ばすための“まほう”の言葉かけ

P 1 4 探求心を育ませる ～ 科学あそび

P 1 5 想像力や発想力を育ませる ～ 工作・物作りあそび

P 1 6 じっけんあそび広場 ～ 好奇心と創造性を育む環境

P 1 7 地域に向けたアプローチ

P 1 8 色彩体験バスハイク ～自然の不思議や色を体験～

# これまで“あゆみ”続けてきた「本園」の特色活動

あゆみ保育園の思い ～子ども達が何度も何度もくじけても、物事にも負けず立ち上がり一歩一歩、夢のある人生を『あゆみ』育って欲しいと言う願いを込めてあります。

・本園では『**色彩**』というものを大切にしてきました。こどもたちに“五感を刺激し、豊かな感性を育ませ、彩り豊かな人生“を体験してもらいたい為です。

・本園が長年取り組んできた事業『**色彩を通じて育まれる感性**』を通じて、①色彩感覚が身につく、②感性が磨かれ豊かに育つ、③多面的な視野が身につく、④脳が刺激を受けて活性化するなどの成長が育んできました。

・そして子ども達が“**何度も何度もくじけてもトライしていけるよう**“に、新しい取り組み「**レヅジョ・エミリア・アプローチ**」を取り入れた色彩体験活動を展開してきました。

# レッジョ・エミリア・アプローチとは？ ～3つの特徴～

イタリア北部の「レッジョ・エミリア市」発祥の幼児教育です。

**好奇心**、**協調性**、**自主性**を育むことができます。

## ①自主性と協調性を育むプロジェクト活動

1年単位で長期的にひとつのテーマを“**子ども同士で話し合い調べて**”進めます。

## ②記録を活かすドキュメンテーション

子どもたちの様子を動画や写真、文字で残します。

(**記録を振り返り**、**次の活動に活かす**ことも目的としています)

## ③創造性を育む環境作り～アトリエの設置

子どもの興味・関心を引き出す環境を整え、**自分で作りたい物を表現**します。



# 色彩が“子どもたち”にもたらした“様々な恩恵”

五感を刺激して、色彩感覚などの“豊かな感性”を育むことができました



豊かな感性で作りに上げた「作品」

豊かな感性が育めた「バスハイク」



“レッジョ・エミリア・アプローチ”を取り入れた「色彩体験」を通じて、自主性・創造力・表現力を育んできました。

思わず挑戦したくなるような環境を整え「何を作りたいか」「どんな活動をしたいか」子どもたちが自身が話し合い、考えて活動を行うことで、主体性や自主性が育まれました。

## 自主性、創造性、表現力を育む取り組み

～ミーティング・話し合うことの大切さ～

自分達で「グループ」を作り「何を作りたいか」「どんな活動をしたいか」などを話し合いながら活動を行いました。

これまで本園で取り組んできた活動“色彩を取り入れたレッジョ・エミリア・アプローチ”を通じて、①色彩感覚、②感性、③多面的な視野、④脳細胞の活性化、⑤自主性・創造性・協調性が育まれました。



こっちの色がいいな～



あおむしと同じ色だよ～



手が「お水の色」になったよ！



にじいろのお魚だね！

# アトリエ広場

創造性を育む環境で作品展示を展示しました。

- ・ 作品を作る過程（写真）や子どもたちの表現（言葉）に耳を傾けると、子どもたちの感性でしか発見できない「驚き」や「発見」が沢山ありました。

# 地域への情報発信（アプローチ）

集会場や商業施設への作品展示

- ・ 子どもたちも「自分達の作品に興味をもってくれている」「意見を尊重してくれているんだ」と感じる事ができたようで、自信をもって活動に取り組んでいました。





# な・ぜ・だ・ろ・う？

～ 活動を通じて、集まった たくさんの疑問 ～

様々な活動を通じて、こどもたちが、口にした「**なぜ？**」  
「**どうして？**」「**これはなんだろう？**」という**疑問**。

この疑問を**自分たちで解決できるようになる力を育ませる**為  
には、どうすれば良いのだろうか・・・。

そして、『**自分の力で自分の未来を切り拓いていける力**』を  
育ませるために取り組んでいけることはないだろうか・・・。



- ・「あれはなんだろう？」
- ・「どうしてわたがうかんでいるの？」
- ・「なんで、おそらはあおいの？」  
なんで～?? おしえて～。



# 課題への新たな取り組み



本園が長年取り組んできた事業『**色彩を通じて育まれる感性 レッジョ・エミリア・アプ  
ローチを取り入れて**』を通じて、様々な成長が見られました。そして活動を通じて、沢山の  
「**なぜだろう？**」が生まれました。

この「**なぜだろう？**」を自分たちで解決できるようにするにはどうすれば良いのか・・・  
模索した結果、たどりついたのが“**STEAM**”でした。

“**これまでの取り組み**”に“**STEAM**”の要素を取り入れることで、こども自身で「なぜだろ  
う？」を解決できる力を養いながら『**自分の力で自分の未来を切り拓いていける力**』を育ん  
でいきます。

# STEAM教育



～ 文理の枠を超えて多くの教科の学習を実社会にいかしていくもの ～

もともと**S**cience（**科学**）、**T**echnology（**技術**）、**E**ngineering（**工学**）、**M**athematics（**数学**）を総合的に学んでいくSTEM教育と言う考え方がありました。IT系の技術革新ともに、今後のIT社会に適応できる人材を育てていく事を目的としたものでした。

STEAM教育は、このSTEM教育に「**A**rt（**芸術**）」を追加したものです。日本では、2019年に文部科学省が「STEAM教育の推進」について述べ、保育の新キーワードとなりました。

簡単に言い換えると「**これからの時代において、自分で課題を見つけ解決していくために重要な力**」と言う事ができます。



# STEAM教育はなぜ必要なのか？

～ 社会の変化に対応できる人材を育む～

今の子どもたちが社会に出るころには、“**予測不可能な社会**”になると言われています。これからは、これまでの「先生が教える、生徒は理解して習得する」といった教育スタイルだけでなく、**物事に対して課題・解決方法を見つけていく経験を重ねること**が必要になります。技術がどれだけ革新されても、それを開発したり活用したりするのは人間です。どんな時代になっても、**自分の力で自分の未来を切り拓いていくため**に、STEAM教育が大切とされています。

学びの基礎となる乳幼児期からSTEAMの分野に触れる保育を“**STEAM保育**”と呼びます。



# 科学は身近な物事を「不思議と思う」こと ～不思議を体験する「環境」を整える～

- ・子どもたちが本来持ち合わせている「**好奇心**」「**探求心**」を、友だち同士で協調し体験を重ねることができる「じっけんあそび」の環境を整えます。
- ・これらの、実験器材や知育玩具を活用しながら“**STEAM保育**”を展開します。

かがみのテーブル（赤） かぜのテーブル（緑） ひかりのテーブル（黄） みずのテーブル（青）

ひかりのテーブルを活用した、光の実験





# STEAM保育を取り入れて、育んでいきたい力

これまでの取り組みに「**STEAMの特徴**」を取り入れていくことで、子ども達の「**内発性**」「**主体性**」「**表現力**」を育みながら、『**自分の力で自分の未来を切り拓いていける力**』を育ませていきます。



## 新たに育ませたい5つの力

- 1・問題を解決してく能力や好奇心、思考力、判断力。
- 2・物の仕組みを考える力。
- 3・数や図形などの法則のあるものへの興味。
- 4・自由な発想で自分が作りたい物が作れる力。
- 5・相手の気持ちを察する力。

# 色彩を通じて育まれる感性

～レッジョ・エミリア・アプローチのSTEAM保育～

実践

## 1・ことば

こどもたちの思考力を伸ばす「ことばかけ」を行い、STEAMの特性を最大限に引き出していく。

## 2・Science（科学）じっけん遊び

好奇心、探求心を友だち同士で協調し体験を重ねることができる「じっけん遊び」を体験させます。

## 3・Engineering（工学・物作り）せいさくあそび

自主性、創造性、表現力、感性、物の仕組みを考える力を育ませます。

## 4・Art（芸術）じっけん遊び広場/作品展示

じっけんあそび広場で、自由に実験/作品作りを楽しませます。

## 5・地域へのアプローチ

ドキュメンテーション（経過の記録、振り返り、子ども達の声など）を活用し、地域の商業施設に“子どもたちの作品を展示します。

## 6・色彩体験バスハイク

福島の自然の色彩変化や身近な不思議を探すバスハイクを行う。  
自然を不思議を表現した作品を作り、じっけんあそび広場に展示する。





# 思考力を伸ばす為の “まほう” の言葉かけ

**STEAM保育で最も大切**だといえるのは、**保育者の言葉かけ**です。保育者の言葉によって、**子供たちの思考力はどんどん伸びていきます**。



## 例：疑問や課題を投げかける声かけ

「どうしてくっつくんだらうね？」 「どうしてかな？」

このような言葉をかけられた子どもは、「なんでだらう、気になるな…」 「他のものだとどうなるんだらう。調べてみよう」と因果関係を考えたり、探求心につながったりしていきます。

## 例：解決までの道筋を考えさせるための声かけ

「どうやったらできるかな？」 「やり方を知っているお友達はあるかな？」

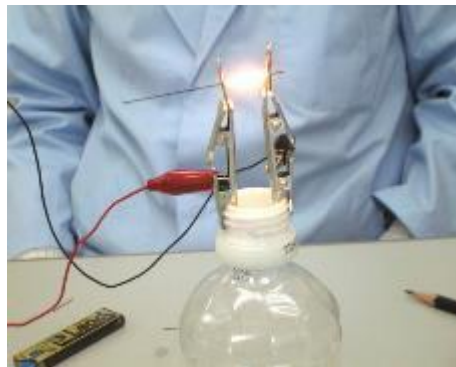
このような言葉をかけられた子どもは、「どんな材料がいるかな」「○○くんが似ているものを作っていたから、やり方を聞いてみよう」と自分なりの解決方法を考える事ができるようになります。

# 探求心を育ませる ～ 科学遊び

言葉の通り、**Science（科学）**の遊びです。子どもたちにとって身近なものを使って科学的な事情に関心を持たせます。

**STEAM保育**では、**子供たちがさまざまな物事に好奇心をもてるようにつながっていくような働き**をしています。

私たちの生活の中には科学的な事情が沢山あります。その1つ1つを題材にして**子どもの「どうして？」「他にあるかな？」「もっと調べたい！」**という思いを引き出します。





# 想像力や発想力を育ませる～工作・物作りあそび

節分や七夕などの季節に合わせた工作をしたり、空き箱などを使った廃材工作を行い **STEAM保育** を体験させます。

箱を **バランスよく組み合わせたり**、自分の作りたい形にちかづくように **配置をかえたり** することは、 **Engineering（工学・物作り）のスキル** です。

“ハサミ”や“のり”などの用具を使って切ったり貼ったりすることや、スタンプやマーブリングなど、美術的な技法が用いられることも多く、 **Art（芸術・文化等）** も含まれます。

従来のSTEM保育の論理的な思考力に留まらず、 **このArt（芸術）の要素に触れること** で、 **子供たちの想像力や発想力** を養っていきます。



# じっけんあそび広場

～好奇心と創造性を育む環境での活動～

- ・ 保育園に“**じっけんあそび広場**”を設置します。
- ・ 様々な「**実験器材**」や素材を活用した活動を通じて、自主性を育みながら、**好奇心**、**探求心**、**創造性**、**表現力**、**感性**、**物の仕組み**などを学んでいきます。
- ・ 作った作品は、作る過程（写真）や、**子ども**の**言葉**と一緒に展示します。  
(**ドキュメンテーションを取り入れます**)



①じっけんあそび広場（仮）



②実験あそび（例）



③くじら作り



④色探し遊び



# 地域に向けた情報発信（アプローチ）

・ **レッジョ・エミリア・アプローチ**を取り入れて作り上げた「**子どもたちの色彩豊かな作品**」を地域の集会場や商業施設に展示し、地域の方へ情報発信を行います。

・ **ドキュメンテーション**（活動の様子を写真・パネルに展示）を取り入れて、地域の方へ「活動の様子」を伝えていきます。



くじら

はらぺこあおむし



にじのちょうちょ



スイミー



# 色彩体験バスハイク

～自然の不思議や色を体験～

- ・ 自然豊かな福島の自然（色彩）の変化や不思議を体験させます。
- ・ 四季の変化を通じて、色彩感覚を育みながら、自然を表現した作品を **レッジョ・エミリア・アプローチ** を取り入れて作ります。
- ・ 四季の自然を体験した子どもたちは沢山の「疑問」を抱きます。**STEAM**の要素を取り入れることで、その「疑問」を解決できる力を育んでいきます。

## 子どもたちがみつけた “不思議”

- ・ トマトと同じ色の葉っぱがあるよ！なんでだろう？
- ・ どうして“おそら”がうごいているの？
- ・ “あか、きいろ”のはっぱがあるのはなんでだろう？
- ・ なんで“かぜ”がふいているの？

